

## 紅花資料館(旧堀米邸)

この地方は、江戸時代から明治初期にかけて、最上川舟運によってもたらされた京文化を色こく花開かせながら、米と紅花で栄えたところです。

堀米四郎兵衛家は、代々名主をつとめ、江戸中期より、農地の集積を計ると共に、紅花商を営み財をなしてきました。また、江戸末期には167名の農兵を組織するなど、地域の治安にも貢献してきました。

昭和57年に、10代目当主より、本資料館の敷地・建造物・古文書など地域の文化、産業の向上のために、河北町に寄贈されました。

邸内の敷地面積は、10,269平方メートル(約3,106坪)あり、武者蔵・御朱印蔵・長屋門・庭園など往時の姿を保存するため、修復整備をおこない、昭和59年に紅花資料館として開館しました。平成22年7月には、隣接する土地を改修した面積5,477平方メートル(1,656坪)の八景園が開園いたしました。

最上紅花や、いろいろな資料を通して、地域の歴史と文化についての理解を深めることを目的として展示公開いたしております。

## 河北町

## 最上紅花

末摘花とも呼ばれ、キク科の植物で、原産地は中近東である。山形県での紅花栽培は室町後期からなされ、貴族のあでやかな衣装の染料や、口紅として重宝された。

特に山形の紅花は「最上紅花」と呼ばれ、品質の良いものが取れた。江戸享保時代以降全盛期を迎え、河北地方では「四百駄」(一駄は約126kg)以上が出荷された。当時、米4俵が一両の時、その同じ重さが百両もしたという。

化学染料や戦争で一時衰退した時期もあったが、昭和55年「町の花」に制定され、山形の気候、風土にあった「最上紅花」は息をふきかえつつある。



### ◆利用案内

■開館時間 (閉館時間)  
3月～10月 9:00～17:00  
11月～2月 9:00～16:00

■休館日 年末年始・第二木曜日

入館料	一般	高校生	小中学生
個人	400円	150円	70円
団体 (20人以上)	350円	120円	50円

※「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳」提示の場合  
一般300円、高校生100円、小中学生50円

### 年間入館券

A	2,000円	1回につき入館者5名まで
B	1,000円	1回につき入館者2名まで

### ●体験観光

#### ◆紅染体験

※入館料込。1週間前まで要予約  
(5～50名様)  
45×45cm 2,000円  
30×30cm 1,600円

●べに花ガイド(無料)による案内…… 1週間前まで要予約  
(5人以上)

### ◆お問い合わせ先

〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地戊1143  
河北町紅花資料館 ☎0237(73)3500(FAX 73-3500)  
ホームページ <http://www.benibananosato.jp/>  
E-mail [info@benibananosato.jp](mailto:info@benibananosato.jp)

### ◆案内図



日本遺産  
認定

# 紅花資料館

## 河北町



# 紅花資料館&八景園 MAP



八景庵



紅染工房くれない



紅の館

紅花の歴史・生産・流通や、京都との交易の様子、紅花がこの町にもたらした文化を感じ取ることができます。また、紅染の手法や、時代雛、紅染衣装などご覧いただけます。



享保雛



べにりんす じかすみ  
紅綸子地鶴に  
しだれ竹文絞繡振袖



べにりんす じつる しょうちく  
紅綸子地鶴と松竹に  
きつこうもんしほりぬいふりそで  
亀甲文絞繡振袖

※展示物は時期により異なります。



御朱印蔵

西川町吉川の新山神社の譲渡を受け、御朱印状を納めるために特別に蔵を文久3年(1863年)に建てられました。唐破風向拜入母屋造の土蔵で、木鼻の獅子の彫刻は高山文五郎作です。



物産館・案内所



明朝螺鈿高台 (伊達藩白石城主拝領品)

青銅水盤 (伊達藩白石城主拝領品)

大名膳



武者蔵

江戸末期に167名の農兵を組織し、地域の治安に尽しました。嘉永6年(1853年)武具関係を取納するために建てられた蔵で、通称武者蔵と言います。



座敷蔵

江戸中期頃の蔵で、堀立式のものです。町内で最も古い蔵の一つであり、後世に座敷蔵に改造し、客室として利用されました。

自然いっぱいの風景を散策してみませんか...

4月種まき〜7月上旬紅花開花 ※紅花の連作障害を防ぐため、一部地図と異なり休耕している畑がございます。

無料駐車場 (40台収容)